

<2026年大学日本画展開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生・卒業生に発表の場を提供しております。この企画は、日本画を志す若手作家の育成とともに、全国の美術教育・研究活動を支援し、日本画の伝統と日本文化の「美意識」「精神性」「技法」を未来へ受け継ぐことを目指すものです。

2026 年から 10 校が参加、若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（1 月～8 月）です。1 月から始まったロングラン企画もいよいよエピソードを迎えます。今回は 7 月 18 日（土）から東京藝術大学、河川 由布子・城田 峻吾・田口 雄大・福島 文葉 4 名による展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『不確かなまなざし』 ～第 48 回大学日本画展 <東京藝術大学日本画 4 人展>～
会期	2026 年 7 月 18 日（土）～8 月 2 日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17:00 まで）【入場無料】
会場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	河川 由布子（かわぐち ゆうこ）、城田 峻吾（しろた りょうご） 田口 雄大（たぐち ゆうだい）、福島 文葉（ふくしま ふみは）
展覧会内容	ガラスに映り込む像と実像の重なり、特定の場所に向けられた静かな視線、ぼやけたイメージを支える粒子の質感、写真と手描きが交差する画面―― 展覧会タイトルの「不確かなまなざし」には、見るという行為が常に曖昧さや複数のレイヤーを伴いながら成り立っているという意味を込めました。私たちの作品は、対象を明確に捉えることからわずかに距離をとり、揺らぎやずれを含んだまなざしのあり方を示しています。 皆さまのご来場を心よりお待ちしております。 作家それぞれ 150 号～100 号の作品を 2～3 点、それ以下のサイズの作品を数点展示予定。
主催	東京藝術大学 大学院美術研究科 日本画研究室
企画	UNPEL GALLERY
協賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

河川 由布子 Kawaguchi Yuko

愛知県出身

2024 年 東京藝術大学 美術学部絵画科日本画専攻 卒業

2026 年 東京藝術大学大学院 美術研究科日本画修士課程 修了

東京藝術大学大学院 美術研究科日本画博士後期課程

第三研究室 入学 在学中

2022 年 安宅賞 受賞

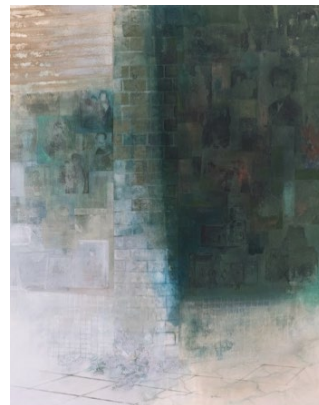
2024 年 日本美術院 再興第 109 回院展 初入選

2025 年 日本美術院 再興第 110 回院展 入選

2026 年 日本美術院 第 81 回春の院展 初入選

【コメント】

記憶の中の様子をベースに、モチーフを画面上で再構成して制作しています。心の内、曖昧な部分を伝統的な日本画に見られる「余白」に託し、現代ならではの表現に落とし込むことを試行しています。



『懐古』

2025 年制作

1620×1303mm

雲肌麻紙、水干、泥絵具、
岩絵具、銀箔

城田 峻吾 Shirota Ryogo

千葉県出身

2024 年 東京藝術大学 美術学部絵画科日本画専攻 卒業

2026 年 東京藝術大学大学院 美術研究科日本画修士課程 修了

東京藝術大学大学院 美術研究科日本画博士後期課程

第一研究室 入学 在学中

2024 年 東京藝術大学日本画第一研究室研究発表展

「一研展」('24 '25)

第 51 回創画展 入選

2025 年 第 51 回東京春季創画展 入選

第 52 回創画展 入選

2026 年 「Will+s 25 展」 優秀賞

修了作品 東京藝術大学買い上げ

第一回 JWS 創藝賞 受賞

第 52 回東京春季創画展 入選



『納屋』

2025 年制作

1303×1620 mm

和紙、墨、岩絵具、膠

【コメント】

光や時間などの瞬間的なものと、触れたものやムービングなどの身体的なものとの間を埋めようとしています。画面の上を這うように手探りで自分が体験したものやイメージを明確にしようとしています。

■作家プロフィール

田口 雄大 Taguchi Yudai

神奈川県出身

2024 年 東京藝術大学 美術学部絵画科日本画専攻 卒業

2026 年 東京藝術大学大学院美術研究科日本画修士課程 修了
東京藝術大学大学院美術研究科日本画博士後期課程
第一研究室 入学 在学中

2024 年 東京藝術大学日本画第一研究室研究発表展
「一研展」('24 '25)

2025 年 第 52 回創画展 入選

2026 年 第 52 回東京春季創画展 入選



【コメント】

日常の中で私たちは様々な影響を受けあって変化
し続けていく、私と画面もそうでありたいと思いながら
描いている。

『木の中を歩く』

2026 年制作

1620×1303mm

高知麻紙、岩絵具、膠

福島 文葉 Fukushima Fumiha

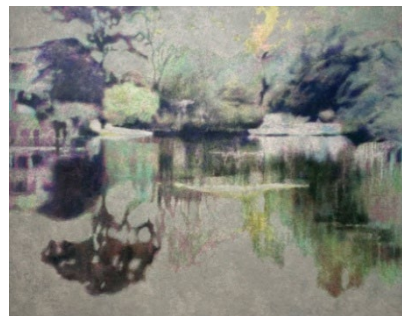
東京都出身

2024 年 東京藝術大学 美術学部絵画科日本画専攻 卒業

2026 年 東京藝術大学大学院 美術研究科日本画修士課程 修了
東京藝術大学大学院 美術研究科日本画博士後期課程
第二研究室 入学 在学中

2024 年 東京藝術大学大学院日本画第二研究室研究発表展
「素描展」以後('25 '26)

2026 年 修了制作 【早晩賞】、【杜賞】受賞



『Reflect』

2026 年制作

1818 × 2273 mm

高知麻紙、岩絵具

【コメント】

岩絵具の発色と粒子感が織りなす重層的な色彩の中で、
現象の曖昧さが立ち現れる絵画空間を探索しています。